

創立 1964年 6月16日
 発足 1964年10月19日
第2510地区 第11グループ



Hakodate North R.C.

2003～2004

The Weekly Report of 函館北ロータークラブ会報



2003～2004年度
 R.I.会旗
 シヨチサシB、ロイアパハ
 国際ローター-のテーマ
『手を貸そう』

四つの子スト

- ……言行はこれに照らしてから……
1. 真実か どうか
 2. みづかに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんのためになるか どうか

北村 祐治 会長テーマ **『YES, I DO!』** さあ、行動しよう!

ローター-では、事業および専門職に携わる人々の世界の奉仕団体です。ローター-は、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的基準を守ることを要し、世界理解と平和を自らの責務として扱っています。ローター-は、世界で最良の奉仕クラブです。最初のローター-クラブは、1905年2月23日に、米国イリノイ州シカゴで創立されました。ローター-クラブは、毎週、例会を開いて、親睦を深め、地域社会や国際社会にとって重要な問題について興味深く有益なプログラムを楽しんでいます。会員は、推薦制度によって入会し、その会費は、会員個人が地域の奉仕活動に貢献しています。



11月26日卓話 出席 和正氏

《第1946回例会》 第22号 12月3日(水)

本日のプログラム

「年次総会」

★会長 北村祐治(幹事) ★幹事 柴崎晃

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
 例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務局：函館市手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

(114)

当社は販売のフロ集団！

職業紹介(許可)01-02-ユ-0006(派遣許可(限)01-02-0017)

株式会社エネキョウキャリア紹介所

※若いキャンベンスタッフを描えています！

函館市万代町 1-20 ☎0138-41-7622(代)

(広告掲載：中川 洲平 会員)

函館北ロータークラブは web(ホームページ)を公開しております。

http://www.hakodate-north.org/
 e-mail: rnt@rotary@hakodate-north.org

2003-04年度 函館北ロータークラブの事業目標

1. 一般会社の健全化——創立50周年に向けて
2. 期終1この方と出会う——2003年9月21日創立記念式典・懇親会が最大の「親睦の日」
3. 奉仕——*地域社会：市へ交通安楽(15000)の寄贈(記念奉仕)
 ローター-による新世代への教育普及・奨励寄贈を目指す。
 *国際奉仕：国際奉仕委員会を通じて地域社会に貢献する——
 子供・家庭・職業奉仕委員会を通じて地域社会に貢献する——
 今、他国では、一方田の奉仕の価値が十倍、二十倍に高まっています。
 「R.I.3400地区イントネーション・プロジェクト・タレント・タレント」を通じて、小学校の図書室整備のため、本館・机・本1500冊などの物品を寄贈する。
 4. インターネットコミュニケーション委員会を設置し、当クラブ以外のクラブとの情報を円滑にし、合わせて若手会員の積極的な活動を目指す。
 5. 反人の言動に好意を示し、反人の成長を助けて、「手」を貸しましょう。
 ——Lend a Hand and Take Action with our heartfelt care
 ——for Rotary's international vision!

◎11月12日出席報告

会 員	40名	出席率対象会員	39名
出 席	23名	出席規定免除会員	1名
当 日 欠 席	8名	出席率規定免除会員	16名
他クラブ出席		出 席 合 計	31名
出 席 率			81.58%

・テレビオンサービス(例会移動案内)電話26-3170番

次回・12月10日 プログラム

卓話「現代旅行事情」
 株式会社北海道じゅらん 営業統括部長 石川 信博 氏

◎司 会 北村 祐治 会長 ◎斉 唱 奉仕の理想、四つのテスト

◎ゲスト 日本航空機函館支店 支店長 出原 和正 氏

◎ピジター 函館R.C. 日下部博久君・佐藤公郷君・函館五稜郭R.C. 川畑武裕君・能戸 彰君・大日向豊吉君

◎会長報告 北村 祐治 会長

○11月23日(日)函館五稜郭R.C.のチャリティーパーティーに出席致しました。
○インドネシアツアーR.C.から事業報告書が届きました。

◎幹事報告 柴崎 晃 幹事

○和歌山城南R.C.から会報が届いておりますので回覧致します。
○タマソサラーR.C.から写真集とCDROMが届きました。
○2004大阪世界大会への参加をぜひお願いします。(現在3名です)

◎親睦活動委員会 嶋野 浩志 委員

ニコニコBOX投入報告

北村 会長……来週年次総会ですので、よろしく申し上げます。

中野 会員……本クイズ欠席がちなため。

南木 会員……BOXに協力。

小笠原会員……”

竹谷 会員……ゲストスピーカー出原さんをお迎えして。

茂木 会員……結婚記念日のお花ありがとうございました。

大谷 会員……がんばりなうた。

◎卓話 「航空会社から見た函館」 日本航空機函館支店 支店長 出原 和正 氏
日本航空 出原でございます。日頃よりJALをご利用いただき誠にありがとうございます。

JALとJASが統合することを発表して以来、昨年10月には持ち株会社を設立させ、順次作業を進めました。来年4月には国内線を担当する機日本航空ジャンパンと国際線を担当する機日本航空インターナショナルに再編し、統合を終えることとなります。新たなJALグループとして出発しますのでよろしく申し上げます。

今日は、函館/東京線の現状・動きを紹介しながら、私どもから見た今後の函館観光の課題等を考えてみたいと思います。今年の上半期、東京/函館線(JAL/ANA計)は旅客数(JAL/ANA計)は前年比2.5%伸びたものの、利用率は3ポイント低下60%強となり採算ラインを割り込んだものと思われまます。

ANAは機材大型化により提供席数を増やし、JALは増便を図ったわけですが、思い通りにはいきませんでした。下期に入りこの11月でいうと2社計の便数(8便)は昨年と変わっていませんが、使用機材が大型化により提供席数は13%程度少なくなっています。席数が少なくなると、航空会社の売り方も変わってくるわけで、人数稼ぎのよゆうな安売りは控える方向を採ります。

観光路線で採算性を重視すると、どうしても旅客数は伸び悩むあるいは減るという傾向になり、これまでほぼ右肩上がりであった東京/函館線も転機を迎えるのでは危惧しています。

この路線の運営上、私どもの課題を二点紹介します。

ひとつは、東京朝発便の利用客を増やしたいということ、もうひとつは、函館空港に到着する人数と出発(東京へ帰る)人数のバランスをとりたいということです。いずれも東京からの函館観光の典型的パターンが超過で函館に到着し、夕方まで市内観光、夜は夜景、翌朝には道央方面へということ結びついていくことかと思えます。先ほど述べました通り、旅客数/来訪者数の大きな増加が期待し難い中、数よりも質(金)との志向で、函館での滞在時間を長く、函館から帰路につくという流れをつくり出すことは、地元にとっても航空会社にとっても課題かと考えます。

来訪者数の増加という意味で期待されるのは、外国人観光客と新婚客かと思えます。中華航空のチャーター便が週2便コンスタントに函館に来ていますし、北海道全体への台湾・香港・韓国からの来道者数は確実に増えています。将来的には中国からのお客様を含め期待される場所ですから、いろいろ先手を打っておくことが大事なことでしょう。最後に年明け1月・2月に函館発チャーター便を、ハワイ・ベトナム・沖縄に運航することになっておりますので、どうかご利用ください。

ありがとうございます。

(公報担当者:茂木 政雄 委員)